

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域ゆかりの

いじん けんじん とくしゅう

偉人・賢人特集



活躍した年:

1874~1936年



活躍した分野:

洋画家



ゆかりのある場所など:

- 倉敷市立美術館
- 大原美術館
- 堀和平
- 大原孫三郎



みつたに くにしろく
満谷 国四郎

新高見梁市市
総社市市
早倉島町市市市市市市
矢井掛原庄岡
浅口市市市市市市
笠岡市市市市市市



みつたにくにしろく めいじ ねん いま そうじゃしもんで う
満谷国四郎は、明治7（1874）年、今の総社市門田に生まれました。

いとこ おかやまようが せんくしゃ し ほりわへい こ ほりけ い わへい
従兄は、岡山洋画の先駆者と知られる堀和平で、子どものころ堀家に行くたびに、和平の
え み つよ こころ
絵を見て強く心をうたれました。

おかやまちゅうがく いま おかやまあさひこうとうがっこう ざいがくちゅう ようがきょうし まつばらさんごろう ようが なら
岡山中学（今の岡山朝日高等学校）在学中に、洋画教師だった松原三五郎から洋画を習い、
がさい みと さい がか じょうきょう じょうきょうご ごせだほうりゅう
画才を認められて、17歳のときに画家をこころざして上京しました。上京後は五姓田芳柳
ようがか こやししょうたろう うんえい がじゆく あぶらえしゅぎょう はげ かれ しゃじつてき がふう
や洋画家の小山正太郎が運営する画塾で油画修業に励みました。ここで彼は、写実的な画風
み
を身につけました。

めいじ ねん あぶらえ はやしい し ほっぴょう めいじてんのう かい
明治31（1898）年に油絵「林大尉の死」を発表しましたが、明治天皇がたまたま会
じょう み こ え まえ た と かんげき たいへんほ
場に見に来られ、その絵の前にしばらく立ち止まれ感激され、大変褒められたため、その
さくひん くないしょう か めいじ ねん みょうぎさん え がいむ
作品は宮内省に買われました。また、明治32（1899）年に「妙義山」という絵が外務
しょう めいじ ねん おのみちこう え ふたた くないしょう か
省に、明治33（1900）年には「尾道港」という絵が再び宮内省に買われました。

ようがか ちゃくじつ ちい ぎず くにしろく あ た かれ めい
洋画家として着実な地位を築いていった国四郎ですが、それに飽き足らなかった彼は、明
じ ねん おおはらまごさぶろう えんじょ りゅうがく あいだ
治44（1911）年に大原孫三郎の援助でフランス留学をおこないました。その間に、ル
えいきょう しゃじつてき がふう しょうしょくてき せん いる じゅう
ノワール、セザンヌなどの影響をうけ、それまでの写実的な画風から、装飾的な線や色を重
し がふう てん ど ちゅうごく りょうこう ばんねん にほんてき どんとうび
視した画風へと転じました。さらに4度にわたり中国を旅行し、晩年には日本の伝統美を
いしぎ さくふう ふか
意識した作風を深めてゆきました。